

## 第2学年 国語科学習指導路案

教科等	国語科	単元名	そうだんに のってください	本時	全7時間扱いの3時間目
学級	2年3組	授業者		教室等	2階 2年3組教室

### <本時の指導>

<b>&lt;本時のねらい&gt;</b> 話をつなげるための話し合いのポイントを理解することができる。	
主な学習活動【4つの視点】 主な発問:T 予想される児童の反応:C 1. 前時を振り返り、めあての確認をする。 話し合いのポイントを見つけよう。	○研究主題にせまる6つの手立て □…指導上の留意点 ☆…評価 ※UD ※時間の構造化・視覚化
2. 話し合い①をする。【対話】 C:きのこが苦手で食べられなくて、相談ののってください。 C:細かくして混ぜるといいと思います。どうしてかという 細かくなると何か分からなくなって食べられる気がする からです。 C:好きなものに混ぜるといいと思います。カレーとかに入れ ると苦手な人参も少し平気な気がします。 C:お茶で飲み込むといいです。自分で飲み込みにくいもの お茶で飲み込むと何とか飲めるからです。	□事前に自分の考えを書いておき、意見を出しやすくする。 ○対話モデルの共有 話し合いの仕方のモデルを視覚化することで、話し合いの仕方を分かりやすくする。自分たちの話し合いとの違いに気付くことができる。
3. 自分たちの話し合いを振り返る。【発見】 T:話し合いはうまくつながることができましたか。 C:上手にできています。 C:話している途中で〇〇さんが話していて全部言えません。 C:まだ話せていない人がいます。 C:すぐ話が終わります。 C:違う話になって答えが出ませんでした。	○話し合いの話し型の提示 話し型があることで安心感をもたせ、円滑な話し合い活動を進める。話し型は、「話をつなぐこつ」として、児童と共に作り上げたものを提示する。
4. 話し合いのモデル動画を見て、話し合いのポイントを見付ける。【発見】 T:話し合いのポイント何でしたか。 C:みんなが順番に話しています。 C:うんうんとか、考えを受け止めています。 C:付け足したり、同じと言ったりしています。 C:詳しく聞きたいことを聞いています。	□意識させたいポイントを黒板に掲示する。※視覚化・共有化 □話し合いのポイントを意識して話し合いをさせる。 □話し合いの様子を録画し、振り返りやすくする。※視覚化・展開の構造化
5. 話し合いのポイントをもとに、話し合い②をする。 【表現】 T:話し合いのポイントを意識して、もう一度話し合いをしてみよう。	○交流の目的と視点の明確化 「自分の考えを相手に伝える」という目的と、「よいと思う友達への考えは何か」という視点を与える。 ☆話し合いのポイントを理解して、話し合いができていくか。(発言・行動観察)
6. 話し合いを振り返り、学級全体で共有する。 T:話し合いのポイントを意識して話し合いをしてみると、どうでしたか。 C:順番に話すと、皆の考えをよく聞くことができました。 C:質問をすると、話がどんどんつながりました。	□学習を振り返り、学習したことを価値付ける。※共有化

### 【板書計画】

### 【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

#### 「対話」のモデルの共有

話をつなげるための、話し合いの仕方を示すモデル動画を作成する。身近な教師が登場することで興味関心をもたせるとともに、学級全体で話し合いの仕方を共有できるようにする。また、モデル動画と自分たちの話し合いとの比較をさせることで自分の課題について見出させていく。

#### 話し合いの話し型の提示

話し合いを進める上で、話し型を提示し、真似して話せばよいことから安心感をもたせ、円滑な話し合いになるようにする。また、言葉を参考にすることで話題に対して質問をしたり、話をつなげたりしやすくする。話し型は、「話をつなぐこつ」として、児童と共に作り上げたものを提示する。単元を通して、毎時間の話し合い活動を録画し、録画を基に振り返る。どの発言が、話し合い活動につながるのかを確認し、話し合いのテーマに合わせて話し型を蓄積していく。児童と共に望ましい話し型を積み上げていくことで、主体的な学びにつなげていく。

#### (2) 「学び合う」ための手立て

#### 交流の目的と視点の明確化

話し合いの際には、「自分の考えを相手に伝える」という目的と、「よいと思う友達への考えは何か」といった視点を与えることで、より目的意識をもちながら、他者と認め合い考えを広げるような話し合い活動を促す。